

# 船橋市立医療センター 実施中の後ろ向き研究一覧

研究部門	研究課題名	対象となる患者さん	
研究責任者	研究の目的・方法	研究期間	承認日
循環器内科	冠動脈形成術を受けた患者の癌罹患率と予後についての調査	2010年1月以降に冠動脈形成術を施行した全ての患者さん	
副部長 沖野 晋一	冠動脈形成術を受けた患者の診療記録から、癌の既往と、術後の癌罹患率について調査する	倫理委員会承認後から	2018年7月27日
循環器内科	心不全患者に対するトルバプタンの効果と安全性の検討	2011年1月以降に心不全でトルバプタン投与を受けた患者さん	
副部長 沖野 晋一	トルバプタン投与患者について、診療記録から実際の投与方法と治療効果、安全性について調査する	倫理委員会承認後から	2018年7月27日
循環器内科	左室機能低下による左室内血栓発症についての調査	2013年4月以降に心筋梗塞発症後に入院した患者さん	
医師 芝山 納恵瑠	心筋梗塞での入院患者への抗凝固療法の有用性を調査する	倫理委員会承認後から	2018年7月27日
循環器内科	急性心筋梗塞患者の左室血栓形成の臨床像に関する調査	2010年5月以降に急性心筋梗塞で入院した患者さん	
副部長 沖野 晋一	左室血栓を形成した急性心筋梗塞患者の臨床像及びエコー、心電図検査、投薬内容の特徴を調査する	倫理委員会承認後から	2018年7月27日
循環器内科	冠動脈形成術におけるCT検査の有効性に関する調査	2010年5月以降に冠動脈形成術を受けた患者さんで冠動脈CT検査を受けた患者さん	
副部長 沖野 晋一	冠動脈形成術治療を行った患者に対する冠動脈CT検査の有効性を調査する	倫理委員会承認後から	2018年7月27日
循環器内科	新規我が国における心臓植込み型デバイス治療の登録調査	2006年1月以降、当院で心臓植込み型デバイスによる治療を受けた患者さん	
医長 内山 貴史	我が国の心臓植込み型デバイスの植込み治療の実態を調査する。それによって、心臓植込みデバイス植込み基準の適性を検討する。	倫理委員会承認後から	2019年10月4日
脳神経外科	日本国内の脳神経血管内治療に関する登録研究4	当院で2015年1月1日～2019年12月31日までに脳神経血管内治療が施行された患者さん	
副部長 新美 淳	脳血管内治療の内容、合併症等を含めた治療成績についての後ろ向き登録研究。治療成績に影響を与える因子を研究する事で、今後の治療成績の向上に寄与することを目的とする。	倫理委員会承認後から	2020年2月28日
呼吸器内科	COVID-19に関するレジストリ研究	2015年1月から2019年12月の間に当院で緊急上部消化管内視鏡検査を施行し、胃十二指腸潰瘍を認めた患者さん	
部長 中村 祐之	本研究で収集されたレジストリデータは、今後の治療薬剤開発、臨床試験や臨床研究の実施などの方針や研究デザイン、エンドポイントを判断する際の資料となりえる	倫理委員会承認後から	2020年5月15日

# 船橋市立医療センター 実施中の後ろ向き研究一覧

研究部門	研究課題名	対象となる患者さん	
研究責任者	研究の目的・方法	研究期間	承認日
整形外科	胸椎・腰椎の脊髄腫瘍切除に対する椎弓形成術術後成績の検討	2002年1月から2013年12月の間に当院で胸椎・腰椎部の脊髄腫瘍切除に対し椎弓形成術を施行した患者さん	
副部長 鮫田 寛明	胸椎・腰椎の脊髄腫瘍切除に対し、後方要素を温存する椎弓形成術を行い、その成績を検討し今術式の有効性を検証する	倫理委員会承認後から	2020年5月15日
循環器内科	総大腿動脈の治療の現状と臨床成績に関する後ろ向き研究(CAULIFLOWER研究)	2018年1月から2020年6月に当院で症候性下肢閉塞性動脈硬化症又は総大腿動脈の症候性動脈硬化性病変に対する治療を受けた患者さん	
副部長 岩田 曜	本邦における症候性総大腿動脈病変に対する侵襲的介入(カテーテルまたは外科手術)の現状の把握と、1年(短期)、3年(長期)における有効性・安全性を検討する。	倫理委員会承認後から	2020年8月24日
循環器内科	補助循環用ポンプカテーテルに関するレジストリ事業	当院でカテーテルVADを使用した全ての患者さん	
医長 黒岩 信行	生存率や予後の改善等に影響を与える因子の探索(解析)を行い、今後の心原性ショック等の急性心不全の病態にある患者の救命治療についての臨床評価や臨床管理などに役立てる。また、カテーテルVADの臨床上的リスクとベネフィットを明らかにし、適切な安全対策の実施を推進するとともに、適正な使用の普及に役立てる。	倫理委員会承認後から	2020年11月20日
循環器内科	大腿膝窩動脈への血管内治療臨床成績に関する後ろ向き研究(eTECC 後ろ向きRegistry)	症候性下肢閉塞性動脈硬化症に罹患し、大腿膝窩動脈の動脈硬化性病変に対し、2017年1月以降に当院で血管内治療を受けた患者さん	
副部長 岩田 曜	大腿膝窩動脈領域の血管内治療に際し、昨今相次いで新規デバイス(薬剤コーティングバルーン、新規デザインのナイチノールステントやポリマー付きパクリタキセル溶出性ステント)が承認されている。本研究ではこれらのデバイスが使用可能となった以降に治療された症例を後ろ向きに検討し、本邦における治療現状の把握と5年までの慢性期における有効性・安全性を検討する。	倫理委員会承認後から	2021年6月25日
消化器内科	進行肝細胞癌治療において実臨床における全身化学療法の実施状況と有効性を検証する多施設後ろ向き研究(変更申請)	2018年3月26日から2023年3月31日までに当院でアテゾリズマブとベバシズマブの併用療法、ソラフェニブ、レンバチニブ、レゴラフェニブ、ラムシルマブ、カボザンチニブのいずれかを導入された患者さん	
副部長 関 厚佳	アテゾリズマブとベバシズマブの併用療法、ソラフェニブ、レンバチニブ、レゴラフェニブ、ラムシルマブ、カボザンチニブを導入された進行肝細胞癌患者において全身化学療法導入期間中の臨床データをすべて集積し、分子標的薬の使い分けの実臨床における安全性と有効性を検証する。	倫理委員会承認後から	2021年8月31日

# 船橋市立医療センター 実施中の後ろ向き研究一覧

研究部門	研究課題名	対象となる患者さん	
研究責任者	研究の目的・方法	研究期間	承認日
腫瘍内科	免疫チェックポイント阻害剤の効果と有害事象に関する研究Ver.3	2015年12月1日から2022年3月31日までに当センターで免疫チェックポイント阻害剤で治療を受けた患者さん	
部長 平野 聡	免疫チェックポイント阻害剤治療で効果のみられた症例や有害事象のみられた患者の臨床背景上の特徴を検討する。	倫理委員会承認後から	2021年11月30日
病理診断科	後ろ向き臨床検討「肺癌EGFR遺伝子検査の対象検体としての気管支鏡器具洗浄液の有用性の検討」	当センターで気管支鏡生検を実施し、EGFR遺伝子検査を実施された患者さん	
部長 清水 辰一郎	肺癌EGFR遺伝子検査の対象検体として気管支鏡器具洗浄液の検査結果を比較検討し、その有用性の検討する。	倫理委員会承認後から	2021年12月27日
泌尿器科 (2022/3/31終了)	ホルモン感受性前立腺癌に対する新規ホルモン薬とビカルタミドの比較研究	2018年1月1日から2021年3月31日までに新たにホルモン感受性前立腺癌と診断され、当センターでCAB療法か、新規ホルモン剤を施行された20歳以上の患者さん	
医長 武井 亮憲	現在、日本の日常診療で広く用いられているアンドロゲン除去療法に抗アンドロゲン薬を併用するCAB療法と比べて、新規ホルモン薬の有効性や安全性を検討する。	倫理委員会承認後から	2022年1月21日
心臓血管外科	重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の有用性に関する多施設共同研究(通称:MITRA PLUS)	2015年1月から2019年12月までに当院で、重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症で心臓手術を受けた患者さん	
部長 茂木 健司	重度虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁置換術と乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の臨床成績を後方視的に比較検討する。	倫理委員会承認後から	2022年3月18日
循環器内科	総大腿動脈の動脈硬化性病変に対する編み込み型ナイチノールステントを用いた血管内治療の後ろ向き実態調査 BURDOCK-CFA Registry	2018年12月から2021年12月までに当院で、総大腿膝窩動脈に動脈硬化性病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者に対し、編み込み型ナイチノールステントであるSUPERAステントを用いた血管内治療を受けた患者さん	
副部長 岩田 曜	総大腿膝窩動脈に動脈硬化性病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者に対し、編み込み型ナイチノールステントであるSUPERAステントを用いた血管内治療の実臨床における6ヶ月の治療成績の実態を明らかにし、その関連因子を探索する。	倫理委員会承認後から	2022年5月25日
消化器内科	急性胆管炎における医療関連感染と市中感染の比較検討	2020年1月から2021年12月までに当院で、急性胆管炎と診断され、治療を受けた患者さん	
根本 裕貴	医療関連急性胆管炎の細菌学のおよび臨床学的な特徴を把握する。	倫理委員会承認後から	2022年5月25日
手術部	実臨床データを用いた肝門部領域胆管癌の術前ドレナージ法別の有効性と手術に及ぼす影響に関する検討	2018年1月から2020年12月までに術前ドレナージを行い、外科的根治手術を受けた患者さん	
部長 貝沼 修	肝門部胆管癌の手術症例に対して術前胆道ドレナージの方法別に合併症、予後を全国調査し、その有効性を検討する。	倫理委員会承認後から	2022年5月25日



# 船橋市立医療センター 実施中の後ろ向き研究一覧

研究部門	研究課題名	対象となる患者さん	
研究責任者	研究の目的・方法	研究期間	承認日
消化器外科	脾温存尾側膵切除術後長期経過症例における胃静脈瘤発生リスク因子の検討。国内多施設共同研究	2011年1月から2018年12月までに脾温存尾側膵切除術を受けた患者さん	
部長 夏目 俊之	脾温存尾側膵切除術後長期経過症例における胃静脈瘤発生リスク因子との関連性について検討する。	倫理委員会承認後から	2022年6月24日
呼吸器外科	呼吸器外科領域手術における、周術期治療成績や臨床病理学的因子と予後予測に関する検討	2013年1月以降、当院呼吸器外科で手術を受けた患者さん	
部長 荒巻 直	当院呼吸器外科で手術を施行した症例の、患者因子や臨床病理学的因子と予後や治療成績などへの関連を後方視的に検討し、明らかにすること。	倫理委員会承認後から	2022年7月27日
呼吸器外科	術中超音波検査の有用性に関する検討	2018年1月から2022年6月までに肺腫瘍に対して手術を行い、術中超音波検査を受けた患者さん	
部長 荒巻 直	完全鏡視下手術において、低侵襲かつ簡便、リアルタイムに行うことにより、肺腫瘍を検索する一助になるかどうか、有用性を検討する。	倫理委員会承認後から	2022年7月27日
患者支援センター	退院支援看護師が急性期病院の在宅療養支援を要する外来患者に実施した調整の現状と課題	2021年4月から2022年3月の間に退院支援看護師が調整・相談業務を行った在宅療養支援を要する外来患者さん	
副主任看護師 須藤 沙智子	退院支援看護師が急性期病院の在宅療養支援を要する外来患者に実施したを明らかにする	倫理委員会承認後から	2022年7月27日
循環器内科	日本におけるたこつぼ症候群大規模多施設レジストリー -JapanTAK Registry-	2010年1月～2021年12月までに入院した、たこつぼ症候群の患者さん	
副部長 丘 慎清	日本におけるたこつぼ症候群の大規模レジストリーを構築し、詳細な検討を行う	倫理委員会承認後から	2022年7月27日
薬剤局	静脈カテーテル感染症等の輸液ルート使用にかかわる実態調査	当院で2019年1月1日から2021年12月31日までに中心静脈カテーテルにより静脈管理を受けた患者さん	
薬剤師 並木 真貴子	静脈カテーテルに係る施設情報及びカテーテル留置患者のカテーテル関連血流感染症、カテーテル閉塞における診療情報の収集を行い、その実態把握や課題の抽出など種々の解析を行い明らかにする	倫理委員会承認後から	2022年8月26日
小児科	本邦の小児におけるビベグロンの有害事象と使用実績調査	当院で2018年11月27日から2021年11月30日まで尿トラブルに対してビベグロンを投与された小児の患者さん	
副部長 木谷 豊	ビベグロンの使用実績を調査し、有害事象や夜尿症頻度に対する効能を明らかにすることを目的とする	倫理委員会承認後から	2022年9月27日
放射線技術科	抹消動脈疾患に対する血管内治療の医療被ばくに関する多施設共同後ろ向き観察研究	当院で2020年4月1日から2022年3月31日までに下肢抹消動脈疾患に対して血管内治療を受けた患者さん	
靱山 裕介	抹消動脈疾患に対する血管内治療の医療被ばくに関する全国調査を実施し、患者被ばく防護の最適化に寄与することを目的とする	倫理委員会承認後から	2022年9月27日